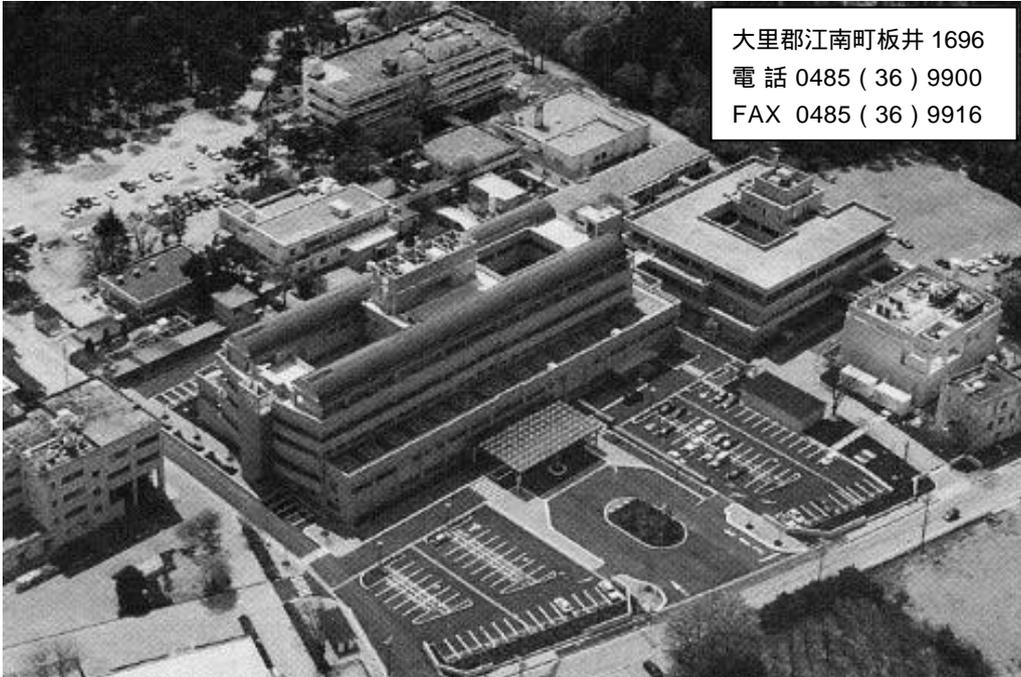


小原循環器病センターだより

第2号



大里郡江南町板井 1696
電話 0485 (36) 9900
FAX 0485 (36) 9916

小原循環器病センター全景

狭心症、心筋梗塞の最新の治療

病院長 堀江俊伸

高齢化社会に伴い、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の発症が増加しています。これらの虚血性疾患に対する治療は少しずつ進歩し、変遷しており、まず治療をする前に確実な診断をすることが大切です。患者さんが胸部圧迫感や胸痛を訴えて来院した時に病歴のみで十分診断可能なこともあり、心電図、胸部X線写真が参考になることもあるし、時には運動負荷試験、ホルター心電図、心エコー図、心筋シンチグラムなどによってはじめて診断できることも少なくありません。大切なことは不安定狭心症や急性心筋梗塞のように緊急を要するのか、経過を観察しながら診断を進めていいのかということです。虚血性心疾患において最も確実な診断法は冠動脈造影などのカテーテル検査であり、冠動脈の狭窄の程度、左室の収縮状態をはっきりと把握できます。近年、カテーテルシステムの改良、技術の向上に伴い、非常に安全に施行されますので、不安定狭心症や心筋梗塞急性期にも施行されるようになってきました。冠動脈狭窄や閉塞病変が認められると、その病態により、内服のみ、カテーテルインターベンション、バイパス手術など治療の選択をいたします。

急性心筋梗塞や不安定狭心症では通常、冠動脈狭窄や閉塞が認められるため、急性期にバルーンカテーテルによる冠動脈拡大（PTCA）を試みます。冠動脈の拡大が十分でなければステントからできているステントを冠動脈内に挿入いたします。急性心筋梗塞では冠動脈に形成される冠動脈血栓により冠動脈閉塞が起こるため一時期盛んに行われていた冠動脈内血栓溶解療法は現在ではほとんど行われなくなりました。一方、PTCA やステント以外にも冠動脈硬化巣を切除するアテローム切除術そのほかの新しいインターベンションが行われ、その治療成績により、施行例数も少しずつ変化しています。

胸痛や胸部圧迫感を訴え、診断にお困りになる時や検査をさらに進めた方がよい時にはぜひご相談下さい。土曜日、日曜日や夜間にも循環器内科の当直医が必ず待機しており、救急にもいつでも対応できます。診断や治療の方針がたてばお返事を書きますのでその後の経過観察よろしくお申し込み申し上げます。

先生方との交流がさらに深まることを希望しております。

各科 Dr.の Profile



新井



竹内



黒沢

- 新井 平成6年4月当センターのオープンの際に「患者さんのための、患者さんに親切な、患者第一の病院」を基本理念に掲げました。多くの患者さんから「総長への手紙」が寄せられ明るく親切な病院だとほめていただいています。ほめていただいている時こそ自戒してことに当たりたいと思います。
私は今年3月で総長を退任いたしました。優秀なスタッフが大勢います。今後とも当センターをよろしく願います。(慈恵医大 S28 卒)
新井先生は4月1日付けで名誉総長となりました。(編集部)
- 竹内 私は東京生まれですが埼玉にも縁があります。私の祖母が行田の出身で、昭和20年代の前半に何度か行田を訪ねたことを覚えています。また医学部時代のボート部合宿では大半を戸田で過ごしました。4月1日付けで総長に就任いたしました。今後ともよろしく願います。(慶應大 S35 卒)
- 黒沢 昭和12年川越市生まれ、外科。趣味は、読書、囲碁、音楽鑑賞、旅行などと好奇心は強いのですが、ここ数年膝痛のため運動は散歩程度で、室内関係のものが主です。(東京大 S37 卒)

循環器科

リハビリテーション科



芝田 小武海 堀江 武藤 今井

- 堀江 循環器病センターに赴任するまでは東京女子医大に勤務しておりました。趣味は写真をとること。題材は花、風景、人物など色々です。いつかは個展を開きたいのが夢です。(京都府立医大 S42 卒)
- 今井 最近熱中していることはインターネットで、趣味の他、仕事にも大いに活用しています。自宅から文献検索のため NIH の Medline に接続しています。
ご質問の際、imaikamon@msn.com へご連絡下さい。(日本大院 S49 了)
- 芝田 熊谷にきて、3年以上が経ってしまいました。熊谷の訛りも板についてきた今日この頃です。主に狭心症、心筋梗塞におけるインターベンション治療を行っています。何かの折には、宜しく願います。(慈恵医大 S60 卒)
- 武藤 平成6年4月より当院に勤務しています。若い女性と知り合う機会もなく寂しい独身ものですが、県北の地の利を活かし暇をみては週末はスキー(温泉)に出かけています。専門は冠動脈疾患で、主に PTCA を行っています。(慈恵医大 S62 卒)
- 小武海 昨年10月、慈恵医大病院から循環器科に派遣されて参りました。大学で学んだことを医療の最前線の現場で活かしたいと思います。よろしく願い致します。(慈恵医大院 H8 了)



渡邊 橋本 鈴木 岩野 志村

渡邊 千葉、東京の病院に勤務し、今回初めて埼玉に参りました。寒暖の差が激しいせいか循環器疾患の患者も多く、日々忙しく働いています。(千葉大H2卒)

岩野 昨年の10月に当センターへ赴任して参りました。大学では遺伝子治療について研究していました。これからは臨床を一生懸命頑張りたいと思います。(慈恵医大H3卒)

鈴木 去年の8月より当院に所属となりました。私の担当はリハビリテーション全般ですが、循環器疾患の勉強もさせていただいております。宜しくお願い致します。(慈恵医大H6卒)

志村 華の独身、ゴルフにスキーに旅行と行動派、今後ともよろしくお願ひします。(東京女子医大H4卒)

橋本浩一 平成7年5月より当センターに勤務しています。心臓カテーテル検査・治療、核医学検査を中心に仕事をしています。今後ともよろしくお願ひします。(慈恵医大H4卒)

諏訪 卒後循環器科に携わってきましたが、いまだ勉強させられる毎日です。諸先生方からは貴重な症例をご紹介いただき、研究会でもお世話になります。今後ともよろしくお願ひします。(金沢医大S54卒)



早船 諏訪 小川 茂木

小川 温暖の地、四国徳島生まれの身には埼玉県北の冬の寒さはこたえます。春先の花粉にくじけそうになりながらも、日夜診療業務に携わっています。(島根医大S58卒)

茂木 循環器の専門病院として、高度の医療を目標とするとともに、学会活動を通じて常に新しい知識の習得を心掛けています。(慈恵医大S62卒)

早船 昨年4月にCCUが開設し、カテーテル数も2000例を超え、地域の先生方のお陰で病院も徐々に軌道に乗ってきました。これからもよろしくお願ひします。(昭和大S63卒)

脳神経外科

循環器小児科

城下 学生時代は医学部というよりスキー部に通学していました。今も熊谷という地の利を活かして十分に楽しんでます。仕事では患者さん達がここで治療を受けて本当に良かったと思われるように初心を忘れず頑張っていくと思っています。(東京大S48卒)

金子 金子先生は平成9年3月31日をもって退職しました。(編集部)

佐久間 開院から脳神経外科医長として赴任して3年が経ちました。地域の医療機関との協力もあって、診療面でも充実してきたと思います。最近の実験研究も頑張っています。(聖マリ大S60卒)



富田 佐久間 城下 高室 金子 斉藤

高室 埼玉での生活も3年目となり、ようやく地に足が付いてきたかなというところです。最近父親になったばかりで、忙しいけれども充実した仕事と子育てに追われる毎日です。(北海道大H2卒)

富田 東京女子医大心研小児科出身です。循環器小児科が専門でインターベンションを中心に仕事をしております。最近、病院の将棋部で職団戦で2回戦突破を目標に頑張っております。(北海道大S56卒)

斉藤 今年で循環器小児科も4年目を迎え、特にカテーテルインターベンションを積極的に行っており、地域の子どものために今後とも努力していく所存です。(弘前大S63卒)

内科、呼吸器内科



茂木 相原 松島
高柳 杉田 柳沢

杉田 群馬大三内、自治医大にて研修後、群馬大三内勤務、平成2年より小原療養所に勤務、センター移行後も継続して勤務しております。今後とも御指導宜しく申し上げます。(群馬大 S50 卒)
高柳 群大2内、自治医大呼吸器内科で研修後、気管支鏡を中心とした呼吸器臨床を中心に仕事しています。胸部疾患学会認定医、気管支鏡指導医。(新潟大 S58 卒)
柳沢 群馬大学第三内科にて研修。平成4年6月より当院呼吸器内科にて勤務し、現在に至っております。御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。(新潟大 S59 卒)

茂木 昭和63年より群大第二内科に入局。群馬県内の病院で研修し、平成5年からは上野村へき地診療所に3年間勤務。平成8年6月から当院勤務となりました。(自治医大 S62 卒)
松島 大宮赤十字病院、小鹿野町立病院を経て、平成6年5月より当院にて勤務しています。呼吸器内科を担当しています。よろしく申し上げます。(自治医大 H2 卒)
相原 群馬大学第二内科にて研修。平成7年6月より当院呼吸器内科に勤務し現在に至っております。今後ともよろしくお願ひいたします。(群馬大院 H5 了)

星俊子 CT, MRI を中心に核医学、血管造影、消化管造影、画像診断を専ら行っています。依頼医との連絡を密にし、臨床的に有用な検査ができるように心がけています。(山形大 S59 卒)
本間 平成4年に山形大学を卒業し、昨年10月にこちらに赴任してまいりました。診断と放射線治療を担当していますが、人員不足で毎日慌ただしく働いています。(山形大 H4 卒)
河端 96年4月に当センターへ来ました。以前は清瀬の結核研究所で呼吸器疾患の臨床病理学的研究をしていました。呼吸器病理に関しては当センター例に加え、病理コンサルタントとしてもお役にたてばと願っています。(金沢大 S44 卒)

放射線科・病理



本間 河端 星

呼吸器外科



村井 星 青山 尾内 吉田

星永進 1990年に日本呼吸器外科学会専門医となり、肺癌の外科治療を中心に縦隔腫瘍、嚢胞性疾患、膿胸等の外科治療を行っています。(山形大院 S58 了)
尾内 一般外科診療を行っています。初期の胃癌、肺癌手術では10年以上の生存例が出てきており、現役で働いている人々もいます。今後も地域医療に微力を尽くしたいと思います。(群馬大 S47 卒)
青山 山形大学第2外科教室に入局、心臓血管外科、呼吸器外科を中心に研修し、平成5年4月より小原療養所に呼吸器外科医として赴任し現在に至る。(山形大院 S59 了)
村井 茨城県出身。大学は山形で今までの人生の半分は関東、半分は東北で過ごしました。今回、久しぶりに関東に戻ってきました。よろしく申し上げます。(山形大 S61 卒)
吉田 研修後、県内僻地病院を経て、平成6年5月より当センター、一般、呼吸器外科診療に従事し、ラグビーをこよなく愛する31才。(自治医大 H3 卒)

心臓血管外科



高倉 小野口
青木 橋本 佐々木 蜂谷

佐々木 学生時代は山岳部にいた私ですが、今は体の荷物が重くなり、たまにゴルフ、スキーに出かける程度です。第1例目の粘液腫に対する手術を行って以来、3年がたち開心術は250例を超えました。時がたつのは早いというのが実感です。(慈恵医大 S50 卒)

橋本和弘 医師、ナース、コメディカル一体となったチームワークで常に Quality of life の向上をめざして安全かつ確実な手術を行うよう努めております。(慈恵医大 S53 卒)

蜂谷 平成8年6月に浜松医科大学第二外科よりまいりました。心臓血管外科を専門に診療しております。(川崎医大 S58 卒)

小野口 家族構成：既婚ながら熟成した妻は無し(但し30才代及び8才の娘がそれぞれ1名有り) 趣味：家族にエサを与え自分はワインを楽しむこと。(慶應大院 H1 了)

高倉 当院に赴任してまだ8ヶ月ですが、心臓外科チームで毎日楽しく臨床を行っております。現在心臓外科チームではワインが大流行しております。その火付けをしたのはこの私です。(慈恵医大 S60 卒)

青木 青木先生は平成9年3月31日をもって退職しました。(編集部)

藤田 昭和62年麻酔指導医。主な研究 麻酔薬及び血管作動薬が血管内皮プロスタグランジン産生に及ぼす影響 麻酔と脊髄鎮痛機構 心臓麻酔 (群馬大 S55 卒)

麻酔科

門井 平成5年4月麻酔科指導医取得。主な研究テーマ；中枢神経系に対する麻酔剤の作用について (群馬大 S61 卒)



門井 河原 藤田

河原 平成8年4月麻酔科指導医取得。主な研究テーマ；麻酔薬の心血管系に対する作用について (群馬大 H2 卒)

(編集後記)

桜前線も今年は快速で北上し、春日のどかな好季節となって参りました。春は別れと出会いの季節でもあります。4月1日付けで当センターでも36名の新規採用職員を迎え39名が転出また退職します。

総長、病院長の異動についてお知らせします。新井総長が退任し、後任に竹内病院長が総長に、病院長には堀江副病院長が就任いたしました。

今後とも当センターをよろしく願います。(編集部)